

タカワ精密 (原町)



足こぎ車いすに試乗する
桜井市長と渡辺社長(左)

片足で動かすりハビリ介助用 南相馬市に贈る

精密機械の設計から
製造を手掛けるタカワ

精密(南相馬市原町区)は十四日、市にリハビリ介助用の足こぎ車いす一台を寄贈した。足こぎ車いすは脳卒中などで歩行が困難になった人や高齢者などが片足で動かすことができ、筋力の増強や神経機能のリハビリに活用される。当初は東北大が開発を始めた。機能向上のため、市の補助金を受けて、ゆめサポート南相馬がコーディネートし、同社と日

足こぎ車いす使って



2013年(平成25年)
2月16日
土曜日

本オートマチックマシン(南相馬市)、福大が協力して両輪の構造を改良した。

足こぎ車いすは一四十五万円相当と高なことから、補助金出した市を通じて、ハビリを必要とする人々に使ってもらおうと贈った。

贈呈式は市役所でわれ、タカワ精密の辺隆光社長が桜井市長に足こぎ車いす手渡した。同社の濱光貴取締役、鈴木鉄FA設計係長、市総病院リハビリテーション科の小野田修一物理治療士が立ち会った。